

群馬県議会 フォーラム群馬

vol.1

後藤かつみ

県議会だより

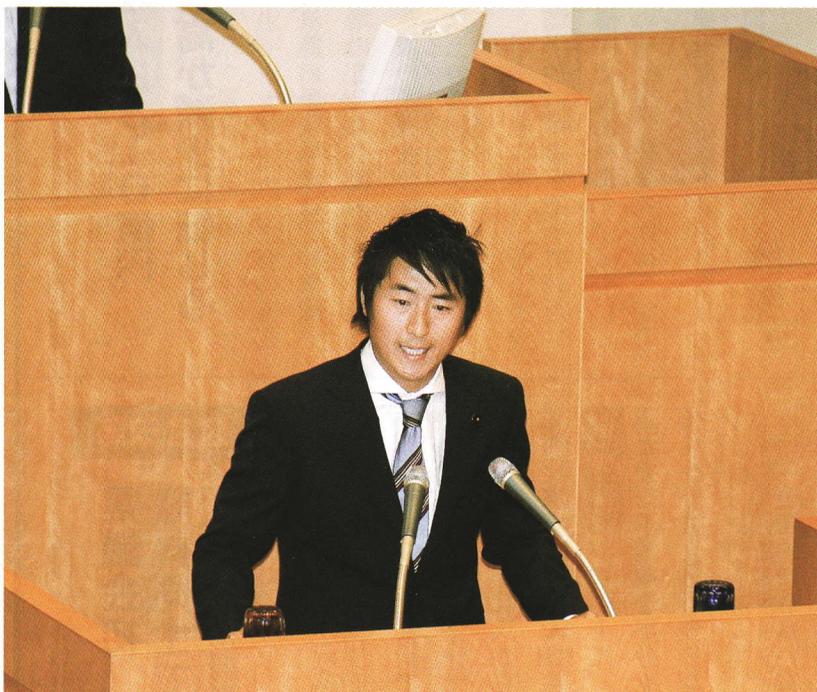
県議会改革に向け、堂々と条例提案!

「県民の税金」という視点からの改革を!

6月6日の議会初日、後藤かつみは県議会改革の重要な一歩として、政務調査費を

100%透明化する条例案を提案しました。

自民党ベテラン県議から野次が飛び交う中、後藤は「政務調査費は県民の税金から賄われている以上、1円たりとも漏らさず県民の皆様に報告



政務調査費にメスを入れる条例案を議員提案、壇上で改革の必要性を訴える後藤かつみ

することが当然の義務」と力説し、「県民の視線からの改革」を訴えました。

着実に広がる改革機運

今回、後藤かつみの提起した条例案に、会派を超えて八人の新人・若手議員に賛同いただき、9議員での共同提案

をすることができました。

多数会派の「数の力」の壁は依然として厚いものがありますが、このように改革の輪を着実に広げていけば、必ず「県民本位」の県議会に変えていくチャンスが訪れます。

県民の皆様、是非ともこれからの県議会をご注目ください。

政務調査費って?

議員の調査研究のために交付される経費で、議員一人あたり年額360万円支給されています。しかし、本県では領収書等によるチェックを行っておらず、事実上の「第二報酬」となっている指摘されています。

後藤かつみの改革案は、「全ての支出に領収書添付」を義務付けることで、100%透明化を図ろうとするものです。

2つの改革案の大きな相違点

自民党を中心とする議会運営委員会は「1万円以上

全国的にも、岩手県、長野県などの五県で既に実施されています。

6月定例議会の主な動き

財政

**県税収入2310億円
県債残高が減少に転じる**

2006年度決算の県税収入は、昨年度から172億円増の2310億円となる見通しです。企業業績の好調さを背景に法人事業税等が2割以上の増加となったことが主な理由です。

また、これまで増加の一途を辿っていた県債残高が、20億円ではありますが減少に転じました。

群馬県の財政健全度は全国トップクラスですが、税収の回復により、一層の健全化が期待されます。

医療

ドクターヘリ導入

医療機器を搭載し救命救急専門の医師を乗せて救急現場に向かうヘリコプター「ドクターヘリ」が来年度に導入されます。

救急現場から病院までの移動時間が大幅に短縮されることが期待されますが、医師の確保等の課題も残されています。

議会改革

**県議会初
議員同士で論戦
政務調査費問題を巡り**

二案の主張ぶつかり合う

6月12日の一般質問で、後藤かつみとともに「全額領収書添付」案を提出した岩上憲司氏と阿部知代氏から、「1万円以上に添付」案を提出した議会運営委員会（中島篤氏が答弁）に対して、「なぜ、1万円以上という不透明な部分を残すのか」という視点から追及をしました。

これに対し、中島氏は「事務量が増える」「全国的にも良い方」と主張し、議論は平行線を辿りました。

四党派が異例の反対討論

しかし、論戦むなしく数の力で押し切られるかたちで「1万円以上」案が可決されました。

これに対し、21日の最終日において、スクラム群馬、爽風、民主改革クラブ、日本共産党の四党派から、決定に不服として反対討論が行われました。

福祉

**特養増設700床の
内訳示される**

「弱者を守る」政策の目玉として、特別養護老人ホームを今年度700床整備する方針となっていますが、市町毎の整備数の内訳が明らかになりました。

緊急の入居待機者数と要支援・要介護認定者数を基に各市に振り分けるといった方法となっています。

700床増の市町別内訳

前橋	150床
高崎	80床
桐生	70床
伊勢崎	100床
太田	80床
沼田	50床
藤岡	20床
みどり	30床
安中	30床
渋川	70床
下仁田	20床
合計	700床



委員会でも積極的に提言

県民の目線、働くものの目線で

文教警察常任委員会

(教育と治安の問題について審議する委員会)

県民・子どもの安心安全

後藤

県内の校舎・体育館の700棟が耐震基準を満たしていない。

新規のハコもの計画よりも、既存施設を利用する生徒や県民の安全を優先すべき。

県教委

学校は、災害時において地域の避難施設ともなる。早急に対応する。

後藤

悪質な産廃の不法投棄等の取締りには粘り強い証拠収集

等が必要。部署の増員・強化を要する。

県警本部

担当部署の増員・強化を要望していきたい。

「本物」の人材育成

自己研鑽のために自主的に年間海外留学をしている高校生が増えている。生徒の努力を県の事業としてサポートすべき。

県教委

留学の意義は分かるが、各学校の教育計画を損なう恐れがあり、事業化は難しい。

職員の職場環境改善

後藤

教員の平均勤務時間は一日約11時間。明らかにゆとりを失っている。部活動等による過剰負担の改善を。

県教委

有識者等による検討協議会

で改善を検討する。

後藤

警官の平均年休取得は年4.3日。これでは元気良く県民の安全を守れない。

県警本部

管理者研修等で取得促進を図りたい。

決算・行財政改革特別委員会

(決算と行財政改革について審議する委員会)

財政の健全化・ハコもの建設抑制

後藤

「昆虫の森」などのハコもの施設が議会で批判されている

また、財政が健全化するまでは、新規のハコもの建設を行わず、既存施設の修繕やソフト充実を優先することを方針化すべき。

県執行部

ハコもの建設については、計画段階から議会で十分チェックをしてもらえようにしていきたい。

人員削減計画と県民サービスの維持

後藤

群馬版集中改革プランにおいて5年間で一般行政職を12%削減する計画となっているが、人口・地理条件の類似した栃木県(現状で群馬より500人多いのに6%強の削減)と比べても極端な削減幅である。

業務のスクラップが進まない中で過剰な人員削減は、肝心の県民サービスの低下に直結する。

県執行部

警察、教育、病院等の職員を確保した結果として、今の状況になってしまっている面もある。今後、しっかり検討していきたい。

こうひょう
5月19日の**降雹災害**



知事とともに榛名地域を緊急視察



農家の説明を熱心に聞く
小寺知事と後藤かつみ

救済策を求め

農家の切実な声を
受け止める

フォーラム群馬が
対応を要望

5月19日の降ひょうによ
り、榛名地域では、被害額
3億5千万円にも上る災害に
見舞われました。

後藤かつみは、小寺知事と
ともに榛名地域を訪問し、農
家の皆さんの切実な声をしつ
かりと受け止めてきました。

農家の皆さんの要望を基
に、後藤かつみの属する党派
「フォーラム群馬」の塚越紀
一議員が6月12日の一般質問
において「被害農家に何らか
の救済策を」「防災対策の充
実に必要な補助金制度の拡充
を」と県執行部に対して要望
しました。

要望を受け、
県執行部も「対
応に全力を尽く
したい」と答
弁。今後の対応
に期待したいと
ころです。

田中正造翁に憧れ、
「民の心」を忘れず、「信
念」を貫き通す人間にな
りたい、と政治の道を志
しました。
初当選以来、「県民に
身近な県政を創る」とい
う理想を胸に、日々訴え
続けています。
皆様のご声援、ご意見
を心よりお待ちしております。

県民に身近な県政を創る

後藤かつみ後援会

住 所 高崎市八幡町800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e - m a i l ccrgoto@yahoo.co.jp
HomePage http://www.g-kenshoku.jp/goto/

皆様の声を
お寄せください！



連日駅頭・街頭にて訴えています